



ほんざん 桃源郷の里

第53号

発行：令和元年
8月15日

飯山北地区コミュニティだより

丸亀市飯山北地区コミュニティ推進協議会 コミュニティセンター事務局 TEL 98-6595

人口 10,731 (+2) 男性 5,230 (+5) 女性 5,501 (▲3) 世帯数 4,314 (+4) *()内は対3ヶ月前

飯山北地区の現況
(令和元年7月1日現在)

災害シーズンに備えて！

大切な命は早めの避難で守ろう！

今年も災害のシーズンを迎えます。大災害から身を守るためには、日頃からの「自分の命は自分で守る」という心構えが大切です。地球規模での異常気象は想像を絶する被害をもたらしています。昨年の西日本豪雨では、街が水没し、多くの人が被災しました。原因の一つには、避難勧告・避難指示がでた後も自宅にとどまったことが上げられています。岡山県倉敷市真備町では、避難勧告を聞いた人86%。避難指示を聞いた人81%。自宅にとどまった人は43%となっていました。多くの人が、「家に戻らず避難所を探せばよかった」「被害を想像しておらず、危機意識が薄かった」と話しています。

丸亀市でも大雨が原因で丸亀城の石垣の一部が崩落。飯山北地区でも飯山総合運動公園内ちびっこ広場周辺の傾斜地が土砂崩れ。また、山間部でも土砂崩れが起きました。国では、昨年の豪雨を教訓にあらたに5段階に変更した「避難情報」を作成しています。

「集中豪雨」はあらかじめ場所・程度が予測されますが「地震」はいつ、どこで発生するか予測できません。今年丸亀市が、「災害ハザードマップ」を新たに作成し配布する予定です。自分の住んでいる場所と避難所をよく確認し、日頃から、災害に備えて家族や隣近所とよく相談し、いざというときは早めの避難をしましょう。

河川の氾濫や土砂災害から命を守る 5つのポイント

- ① 自宅や職場周辺にどのような災害リスクがあるのかを確認しておく（ハザードマップ）
- ② 避難所へ行く際は、出来るだけ河川から離れた高い道を選ぶ。やむを得ず冠水した道を通る際は杖などを使い足元の安全を確認
- ③ 川や用水路の様子を見に行かない
- ④ 日没前に避難をする。特に高齢者やお子様のいる家庭は、早めに避難
- ⑤ 自宅の位置や構造、避難路の安全性を考慮し避難の判断（マンションの2階以上である等）



大雨防災情報の5段階区分

警戒レベル

気象庁等の情報

住民が取るべき行動

避難に必要な事

1

早期注意報

災害への心構えを高める

気象情報に気をつける

2

洪水・大雨注意報

避難場所や経路を再確認

- ・避難場所や経路を再確認（ハザードマップ参照）
- ・懐中電灯・携帯ラジオ・水・充電器等の準備
- ・運動靴と長い棒を出しておく（長靴はダメ）

3

氾濫警戒情報

高齢者らは避難開始

高齢者ら（移動に時間のかかる人）は早めに避難開始

4

土砂災害警戒情報
氾濫危険情報
避難勧告
避難指示

速やかに全員避難

屋外スピーカー・エリアメール・テレビ等で避難勧告の発令を知る

5

大雨特別警報
災害発生

命を守る最善の行動

避難所では

- ・避難所でのマナーに気をつけましょう
- ・高齢者等への気遣いも忘れずに



1